

令和4年 **4**月の大阪森林便り

今月の木の話 日本三大桜

- (1)  林業テック、生産性高める
- (2)  住宅木材、米で16%高 先物、1週余りで ウクライナ侵攻受け
- (3)  合板材、国産を代替調達 セイホク ロシアの輸出禁止受け
- (4)  国産合板 追加値上げ セイホク、4月分から6%

今月の木の話 日本三大桜

名称	所在地	特徴
山高神代ザクラ	山梨県 武川村	* 実相寺境内にあるエドヒガン。 * 目通りの幹回り 10.67M。 * 日本武尊が東夷征討の帰途、手植えした桜との伝説。 * 樹齢 1800 年、我が国最長老の桜。
根尾谷淡墨ザクラ	岐阜県 根尾村	* 継体天皇お手植えの伝説を持つエドヒガン。 * 樹高 23Mの巨木。
三春滝ザクラ	福島県 三春町	* エドヒガン系のシダレザクラ。 * 垂れ下がる大きな枝に淡紅色の花を咲かせます。

(2008 年発刊 (社) 大阪府木材連合会・大阪木材仲買協同組合発行「天然記念物 巨樹・古木」より抜粋・引用)

(1) 林業テック、生産性高める

人手不足を打開 脱炭素もにらむ

☆林業の生産性向上を後押しするスタートアップの取り組み

* ドローンと人工知能 (A I) を組み合わせ、森林の資源量や生育状況を計測するシステムの開発に乗り出しました。

* スカイマティクス (東京都中央区) のシステムでは、ドローンの撮影画像を基に A I が樹木の本数や生え方を解析。2023 年をめどに正式投入。

* 国土の 7 割を森林が占める日本ですが、林業は衰退傾向。

- ・2019年の木材生産額は2700億円。ピークだった1971年（9894億円）に比べ約1/4。
 - ・林業従事者も減少。労働環境の厳しさが一因。
 - ・林業の1000人当たりの労働災害発生人数は2020年に25.5人と、全27業種で最も多くなっています。
 - *植林スタートアップの中川（和歌山県田辺市）は、資材運搬用ドローンを開発。
 - ・植林は重さ約20kgの荷物を持って山中で作業するため、腰痛に悩む従事者も少なくありません。
 - ・導入以降はこうした労働災害はゼロで、1日当たりの植林量は1.2倍に増えました。
 - *コマツは伐採などに使う機械からデータを集め、業務進捗などを管理するシステムを開発中。
 - *森未来（東京都港区）は木材専用の電子商取引サイトを運営。
 - ・国内外80産地で売買された計約1万点の木材の情報を蓄積。
 - ・競りで価格が変化した従来の取引に比べ、先行きを見通しやすくなる利点。
 - *政府は2030年度に温暖化ガスを2013年度に比べ46%削減する目標。
 - ・森林による二酸化炭素（CO₂）吸収量は、目標の5%分に当たる3800万トンを想定。
 - ・2024年度からは「森林環境税」を住民税に上乗せする形で徴収。
- （2022年3月2日 日刊木材新聞記事より抜粋・引用）



(2) 住宅木材、米で16%高 先物、1週余りで

ウクライナ侵攻受け 経済制裁で欧州供給不安

- *米国で住宅用木材の価格が急騰。
- ・先物価格は1週余りで一時16%上昇し、約10か月ぶりの高値を付けました。
- *ロシアやベラルーシ、ウクライナは住宅の構造材に使う針葉樹の産地で、欧州連合（EU）が輸入する針葉樹製品のうち4分の3をこの3国が占めます。
- *EUがベラルーシにEUへの木材輸出停止の制裁をかけました。
- *米国では製材品の現物価格も上昇。
- ・ツーバイフォー住宅向け製材品は前週比で3%高く、前年同期比で37%高。
- *米国相場の高騰は日本の木材輸入価格の押上要因となる可能性があります。

ロシア・ベラルーシの木材 森林認証も一時停止

*森林の持続可能性に配慮した木材であることを証明する国際機関が相次ぎ、ロシアとベラルーシからくる木材の森林認証の一時停止に踏み切ります。

(2022年3月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(3) 合板材、国産を代替調達

セイホク ロシアの輸出禁止受け

*ロシアが木材製品の輸出禁止を打ち出したことで、ロシアからの材料調達が難しくなった国内のメーカー。

*最大手のセイホクは杉などの国産材で代替する方針。

*ロシアが日米欧への輸出禁止を決めた木材製品には、合板の材料「単板」などが含まれます。

・ロシアからの合板用単板の輸入量は、2021年で日本の単板輸入量全体の64%。

*合板の材料コストは上昇傾向。

*在庫は前年同期比15%減少。

*ロシアは他に丸太や木材チップも輸出禁止対象。

*日本が輸入している製材品や集成材など、住宅の梁や柱に使う構造材は対象外。

(2022年3月15日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(4) 国産合板 追加値上げ セイホク、4月分から6%

*合板最大手のセイホクは、国産針葉樹合板で4月出荷分から6%値上げ。

・杉丸太と接着剤の価格上昇で2021年から断続的に値上げをしています。

*ロシアが経済制裁の対抗措置として合板の原料である単板の輸出を停止。

・セイホクは国産の杉などを代替材として調達。

*国産針葉樹合板の在庫は2月末で92,940M³と、前年同月比で18.5%減少。

(2022年3月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

